



松坂よしのり

議会報告
令和6年夏号

令和6年第2回定例会において一般質問を行いましたので一部ご紹介いたします。

1 JR京葉線9月に快速増発。快速一部復元。👉 前進しました!

ダイヤ改正再考の決議、意見書を議会で可決。市長とともに都市建設委員長として尽力

都市建設委員会で調査活動を行い市議会では臨時議会でダイヤ改正の再考を求める決議が、また、国に対してもダイヤ改正の利便性確保に向けた意見書も可決された。本市の利用者アンケートでは、自民党会派も積極的に協力し多くの回答をいただいた。

その結果、市民生活への影響が出ていること、また約1割の方が転居を実施又は検討と回答しており、都市基盤を揺るがす大きな問題になっている。

様々な要望活動の中、本年9月からのダイヤ変更においては、平日朝の時間帯に上り・下りをあわせて5本の快速便が復元された。全国的に見ても初の対応であり、市民、市長、議会、役所が一丸となり要望した結果であると考えられる。しかし、快速の復元は全体で26%と一部であり帰宅時間帯を含め更なる復元が望まれるところである。

質問 アンケート結果に基づき市はどのような取り組みを行ったのか。市民と市長、市議会が一体となって取り組んだ結果として9月のダイヤ変更につながったが評価は。残る課題である帰宅時間帯の快速復元についてどう取り組むか。

回答 アンケートでは7割超が「快速の増便」、5割超が「通勤快速の復活」を求めている。改めて、「通勤・退勤時間帯の快速の増便」や「東京との所要時間の改善」についてJRへ申し入れを行った。ダイヤ変更の内容は一部評価するが、残る課題の一つである「夕夜間帯の速達性」について、引き続き、改善方策の検討をJR東日本に求めていく。

要望 更なるダイヤ改正を求め、定期的・継続的に協議を行うこと、特に帰宅時間帯の快速復元に向けてJRとの協議を進めるよう要望する。

2 鎌取駅南口及び北口駅前広場について 👉 大きく前進!

鎌取駅は利用者が多く、朝・夕の通勤・通学の時間帯には送迎などにより混雑している。雨天の時には更に混雑するため、ロータリー内に入れない状況となっている。南口は、歩道が雨の日に滑りやすくなるなどの声がある。兼ねてから我が会派で改修の要望をしている鎌取駅南口は4月から本格的に工事が始まった。地元では利便性の向上への期待が高まっている。北口についても住宅開発が進み北口駅前広場についても改修計画がある。



質問 鎌取駅南口及び北口駅前広場の今後の整備予定について伺う。

回答 鎌取駅南口及び北口駅前広場の整備予定ですが、南口駅前広場では、左折レーンの整備が7月末、階段部シェルターの整備が2月末の完了を予定している。一般車両の乗降スペースの増設の整備を今年度実施する。バスロータリー側の階段部シェルターについても整備に向け取り組む。

また、北口駅前広場では、身体障害者乗降場をエレベータに近い位置への移設や、一般車両の乗降スペースの確保に加え、タクシープールを新設するなどの整備を今年度実施していく。なお、歩道部の舗装面については、舗装改修などの対策を今後検討していく。

要望 早期完成に向け事業推進をお願いする。

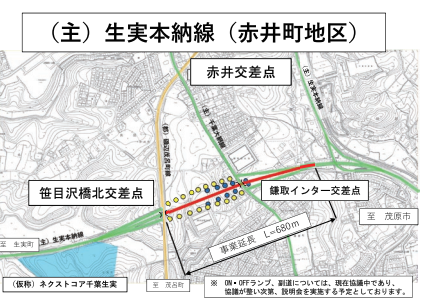
3 地方道生実本納線(鎌取インター付近)について 👉 大きく前進!

磯辺茂呂町線から鎌取インターまでが未整備となっており、完成すれば物流の活性化や大網街道の渋滞緩和など、地域の発展に資する効果は大きい。整備済区間の状況から立体交差となることが計画されている。

質問 主要地方道生実本納線の道路構造及び今後の取り組みについて伺う。

回答 大網街道と立体交差する計画であり、掘割構造となることから、沿線からアクセスできる副道を設ける。7月に地元説明会を行い、年内に、整地工事に着手する予定としている。

要望 近隣に新規産業用地ネクストコア千葉生実の整備が行われるため、令和9年度以降に進出企業が操業を開始するので8年度末までの完成を目指し事業の推進をお願いする。



詳しくはホームページをご覧ください。
市政に対するご意見をぜひお聞かせください!





冠水対策、下水整備、道路整備について

- ①市道椎名崎町20号線及び土気町8号線における冠水の対策、下水整備の進捗状況と今後の予定について。
(市答弁)着実に計画を進める。(要望)効果的な対策を検討するよう要望。**➡ 前進しました。**
- ②大網街道(鎌取～土気)の歩道に対する現状と今後の歩道整備方針について。
(市答弁)整備内容や優先順位を整理し、計画的に取り組む。(要望)早期の歩道整備を要望。**➡ 前進しました。**
- ③越智はなみずき台入口交差点の取組状況について。
(市答弁)自治会からいただいた意見をもとに改良を進める。(要望)早期の対応を要望。**➡ 前進しました。**
- ④越智はなみずき台入口交差点付近の大網街道における冠水対策について。
(市答弁)調査し冠水対策を進める。(要望)早期の対策を要望。**➡ 前進しました。**
- ⑤八幡台踏切の現状認識及びこれまでと今後の取組みについて
(市答弁)利用者の意見を聞き利便性向上に努める。(要望)丁寧な対応を望む。



地域要望を着実に進めています。要望はお近くの我が会派の議員へお寄せください。鎌取十字路口道路舗装工事、辺田交差点右折矢印信号設置、椎名崎町冠水対策工事計画などの実現。その他、各地区から多くの要望をいただいております。議会最大会派の議員として着実に推進していきます。

都市建設委員会委員長としてリーダーシップを発揮！ 空き家対策の提言を神谷市長に提出。対策が大きく前進。

詳細調査や専門部署を

市議会
委員会
千葉市に空き家対策提言

少子高齢化や人口減少の進展を受け増加が懸念される空き家の対策について、千葉市議会都市建設委員会が政策提言書を取りまとめ、市に提出した。詳細な調査による実態把握や専門部署の立ち上げ、自治会との連携など10項目の政策を求めた。

同委員会は所管する都市建設行政の課題の中から空



神谷市長に空き家対策提言書を手渡す松坂委員長

き家対策をテーマに取り上げ、1年間をかけて調査。先進的な取り組みを行う京都市や神戸市を視察するなどして、千葉市が早急に取り組むべき政策を議論してきた。

提言書は、空き家の増加の恐れに「市民から不安の声が寄せられている」とした上で「発生予防や活用可能な空き家の流通促進につながる取り組み、特定空き家などへの指導体制を速やかに検討する必要がある」と指摘。詳細で有効な実態調査などに加え、速やかな行政手続きの実施に向けた標準的な対応期間の設定、福祉分野との連携、地域との将来像共有なども要請した。

同委員会の松坂吉則委員長は「昨年春の市議選で多

くの市議が選挙区内を回り、空き家の増加を実感している。街の活気が失われ、空き家対策は今後の街づくりの基本になる」と、早期対策の必要性を強調。神谷俊一市長は「重く受け止め、できることから具体化していきたい」と述べた。

国の調査によると、千葉市内の空き家は2018年度時点で別荘なども含め約5万7900戸。13年度は約5万2700戸だった。市は、市民が寄せる空き家相談に対して各区の職員が行っていた現地調査などを新年度から外部に委託する方針。新年度当初予算案に空き家対策事業費として、前年度よりも約3千万円増額した約4100万円を計上している。

千葉日報
令和6年3月15日